

北海道大学病院に通院・入院中または通院・入院されていた患者さんと
ご家族の方へ
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号、令和5年3月27日一部改正)」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] AIによる3D-CTAを用いた血管へのカテーテライゼーション難易度解析

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 渥美 達也

[研究責任者・所属] 森田 亮 (画像診断学教室・助教)

[研究の目的] 今回の研究の目的は、過去の診療情報(CT/MRI/血管造影データ)を基にAIによって血管へのカテーテルを挿入する手技等の医学的手技難易度解析を行い、最適なカテーテル形状を推定するAIニューラルネットワーク(人間の脳の機能を再現したもの)の作成やトレーニングシステムを構築することです。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2000年1月1日から2030年3月31日の間に北海道大学病院で3D-CTA撮像(三次元血管造影検査)を行った方。

●利用するカルテ情報・調査項目

年齢、性別、臨床診断、術式、検査所見(血液検査)、画像所見(血管造影、CT、MRI、超音波検査)、手技後の結果

[研究実施期間]

実施許可日～2032年3月31日(登録締切日:2030年3月31日)

[個人情報の取り扱い]

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報は、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

また、患者さんの情報を用いて作成した臓器モデル・STL データ(CT データから作成した STL データは、医療画像を 3D プリント可能な形式に変換したもので、精密な物理モデルの製作に利用されます)を他の研究機関へ提供する可能性もありますが、その場合にも個人が特定されない状態で MTA (Material Transfer Agreement) 契約を締結した上で提供を行います。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北区北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院放射線診断科 担当医師 森田 亮

電話 011-706-7779

FAX 011-706-7876